【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【公開番号】特開2017-108265(P2017-108265A)
【公開日】平成29年6月15日(2017.6.15)
【年通号数】公開・登録公報2017-022
【出願番号】特願2015-240120(P2015-240120)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｍ　3/56　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｍ　3/56　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成30年11月16日(2018.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の端末装置の発言権を管理するサーバ装置であって、
前記端末装置から送信される発言権の要求信号を受信する受信部と、
前記受信部において、複数の端末装置から前記発言権の要求信号を受信した場合に、前記受信した発言権の要求信号をもとに、前記複数の端末装置のいずれかに発言権を付与する制御部と、
前記制御部において発言権を付与した端末装置に、発言権の付与を通知する送信部とを備え、
前記制御部は、
音声信号の再生が終了してから発言権を要求するまでの応答期間を導出する導出部と、
前記導出部において導出した複数の端末装置の応答期間を比較することによって、前記複数の端末装置のいずれかに発言権を付与する比較部と、
を備えることを特徴とするサーバ装置。
【請求項２】
前記制御部は、音声信号の再生期間と、送信側の端末装置もしくは本サーバ装置から各受信側の端末装置までの第１の送信遅延期間と、各受信側の端末装置から本サーバ装置までの第２の送信遅延期間とを取得する取得部を更に備え、
前記導出部は、前記受信側の端末装置それぞれに対して、前記受信部において発言権の要求信号を受信したタイミングから、前記取得部が取得した再生期間と、第１の送信遅延期間と、第２の送信遅延期間とを減算することによって、前記応答期間を導出することを特徴とする請求項１に記載のサーバ装置。
【請求項３】
前記複数の端末装置は所定のグループに属し、グループごとにそれぞれに属する複数の端末装置に対する発言権を管理することを特徴とする請求項１または２に記載のサーバ装置。
【請求項４】
前記導出部は、複数の受信側の端末装置のそれぞれに対する優先期間を保持しており、前記導出部は、応答期間から優先期間を減算することによって、応答期間を調節することを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載のサーバ装置。

【請求項５】
前記制御部は、音声信号の再生が終了してから所定の期間において前記受信部が受信した発言権の要求信号に対して、前記導出部、前記比較部による処理を実行させることを特徴とする請求項１から４のいずれかに記載のサーバ装置。
【請求項６】
前記制御部は、音声信号の再生が終了してから所定の期間経過後に、前記受信部が受信した発言権の要求信号に対して、受信した順に発言権を付与することを特徴とする請求項１から５のいずれかに記載のサーバ装置。
【請求項７】
前記制御部は、音声信号の再生が終了してから所定の期間経過後に、前記受信部が発言権の要求信号を受信した場合、発言権の要求信号の送信元になる２つ以上の受信側の端末装置のそれぞれに対して、前記受信部において発言権の要求信号を受信したタイミングから第２の送信遅延期間を減算することによって、発言権の要求信号の送信タイミングを導出し、送信タイミングを比較することによって、いずれかの受信側の端末装置に発言権を付与することを特徴とする請求項１からの５のいずれかに記載のサーバ装置。
【請求項８】
請求項１から７のいずれかに記載のサーバ装置と通信可能であることを特徴とする端末装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記課題を解決するために、本発明のある態様のサーバ装置は、複数の端末装置の発言権を管理するサーバ装置であって、端末装置から送信される発言権の要求信号を受信する受信部と、受信部において複数の端末装置から発言権の要求信号を受信した場合に、受信した発言権の要求信号をもとに、複数の端末装置のいずれかに発言権を付与する制御部と、制御部において発言権を付与した端末装置に、発言権の付与を通知する送信部とを備える。制御部は、音声信号の再生が終了してから発言権を要求するまでの応答期間を導出する導出部と、導出部において導出した複数の端末装置の応答期間を比較することによって、複数の端末装置のいずれかに発言権を付与する比較部とを備える。